



プーチンの狙いはウクライナ全体、それは出来っこない

大軍を周辺に配置したロシア。米国はウクライナが負けると思っていたらしい。ロシアは略2日目にゼレンスキー大統領に亡命を提案。大統領は断り「私はここにいる。国を守る」と演説。ウクライナ軍は奮い立ち、ロシア軍の侵襲を食い止めた。プーチンは勝つ積もりで「勝利した」との予定稿を準備していた。ノーボスチ通信が誤ってそれを発信。

ウクライナ全体を狙う

それには「大ロシア人、ベラルーシ人、小ロシア人(ウクライナ人)の一体性を回復」とある。つまりプーチンの狙いはクリミアと東部2州だけでなくウクライナ全体。

これではウクライナに妥協の余地はない。ロシアが大軍で攻め

でもウクライナは戦いを止める事はない。ロシアのGDPは世界で11位。その半分は石油LNG。工業製品は少ない。これでは大軍を擁しての長期の市街戦はできない。

短期戦の積もりの口軍は補給の準備が無かった。ロシアは間もなく動けなくなるだろう。

講和条約は…

プーチンは降ろされ、次のような講和になるだろう。ロシアは

- ①兵器を置き、クリミアや東部2州を含めてウクライナから退去
- ②破壊や殺傷を補償
- ③戦犯(プーチンや原発、民家攻撃の指揮官)は国際法廷に
- ④核兵器を放棄。

これ以外の道があるでしょうか？

あなたはどう思われますか？



小松ヶ池の河津桜

神奈川県三浦市南下浦町上宮田

二〇二二年三月

小松ヶ池は京急三浦海岸駅と三崎口駅のほぼ中間にある。この二つの駅の間には河津桜の並木道があり、それを愛でて歩く人々がこの池の周りで一休み。魚を釣る人の足許に鵜。釣り人は時々掛け網を引きあげ、その鵜に小魚を与えていた。この池にまつわる伝説の石碑があった。

働き者の嫁お松に、意地悪な姑が一人では無理な量の田植えを命令。日が沈む頃になっても田植えは終わらず、お松は困り果てた。「あと半刻もあれば田植えが終わるのに」と。すると、お日様が戻り田植えを終えた。が、その瞬間、辺り一面は泥沼に変わりお松は呑まれてしまった。その後、雨が続き、大きな沼になってしまった。

この話には異なる結末もあるようです。

